

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 内藤 則義
 〒221-0825
 横浜市神奈川区反町3-17-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井 修身

印刷 株式会社あんざい

- 身障かながわ編集委員紹介 ①
- 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」派遣選手 ②
- 登山事業（歩行訓練）報告 ②
- 市町村のページ① ③
- 横須賀市視覚障害者協会の活動内容について
- さんぽみち ③
- 県身連からのご案内 ④
- 市町村のページ② 七宝焼 ⑤
- みんなのひろば ⑤
- 県身連事業予定（10月～1月） ⑥
- 編集室から ⑥

身障かながわ編集委員紹介

遠藤 伸一 (委員長)

種田 多化子

西本 順子

同じ障害でも、個人個人の生き方があります。団体の活動や個人の生き方が、紙面上に現れる「身障かながわ」にできたら良いなと思います。会員の原稿が頼りです。

第3ブロックから参加します。障害の有無にかかわらず、相互理解につながる紙面作りを目指します。

本年度から、新しく「身障かながわ」編集委員をとめさせて頂きます。皆様のご協力のもと、どうぞよろしくお願いいたします。

新井 修身 (副委員長)

吉原 君子

河原 雅浩

今年度も、視力部からの推薦により、身障かながわの編集委員を務めることになりました。会員の皆様、よろしくお願い致します。

皆様のご協力に感謝しながら、引き続き頑張ります。

引き続き、読みやすく、役にたつような紙面作りに頑張ります。

鈴木 英雄

最近、体調に不安があります。が、できる範囲でお役に立ちたいと思っています。

田畑 ふみ子

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

身障かながわ 作成の流れ

- 発行3ヶ月前 編集委員会
紙面構成や原稿依頼の開始
- 発行2ヶ月前
紙面構成の検討と紙面作成
- 発行3週間前
印刷、製本
- 発行 各団体の皆様へ送付

身近な出来事などがありましたら、おしらせください。

第23回 全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」派遣選手

《 神奈川県選手団 個人競技48名 団体競技 1チーム15名 》

- 陸上(身体) ・阿部博敏(聴)・長嶋洋祐(肢)・山岸夕馬(肢)・漆原清乃(視)・五味義一(視)
- ・坂田けんじ(肢)・嶋尾拓斗(肢)・関田慎次郎(肢)・宮部優子(肢)
- 陸上(知的) ・石川 蓮・栗屋尚貴・小山亮介・柿本空斗・山田優喜
- ・白川堺都・池端優衣・大村菜友・三浦れい・畑木美乃
- 水泳(身体) ・野村空和(聴)・森 一馬(肢)・中村汐里(肢)
- 水泳(知的) ・小島雪乃・藤本 司・直井駿弥・荻野正人
- 卓球(身体) ・鈴木真知子(肢)・川田政二(肢) (S T T) ・松井俊貴(視)
- 卓球(知的) ・鈴木康之介・井上雄輔・牧野美月
- 卓球(精神) ・江川博紀・樋口博子
- FD(身体) ・小菅 晃(肢)・井下昭二(肢)・狩野文男(聴)・狩野弘子(聴)
- FD(知的) ・濱田壮琉・佐藤雅之・早川帆純
- アーチェリー(身体) ・奥平小晴(内)
- ボウリング(知的) ・森永華澄美・伊藤慎一郎・落合祐樹・中川恵介
- ボッチャ(身体) ・河合恭子(肢)・秋元優香(肢)
- 【団体競技 グランドソフトボール(視覚)】
- ・岸川三恵・杉山秀明・清水亜樹・飯田真之・與田直樹・中山明義・村川正行
- ・西崎 誠・寺島崇央・齋藤健二・長田信清・関谷幸夫・寺島奏良・永井新一郎
- ・福本順哉

《 相模原市選手団 個人競技 17名 》

- 陸上(身体) ・押本翔希(肢)・山本嘉則(聴)
- 陸上(知的) ・田島彩花・菅野怜央・池田悠実・横谷好彦・松井拓也
- 水泳(身体) ・末田帆香(肢)
- 水泳(知的) ・佐藤友愉
- 卓球(身体) ・榎原澄男(肢) (S T T) ・福島美栄子(視)
- 卓球(知的) ・後藤真人
- 卓球(精神) ・栗原祐人
- FD(身体) ・海野昭美(視)・松岡愛香(聴)
- FD(知的) ・森 柊介
- ボウリング(知的) ・菊地秀宣

登山事業(歩行訓練)報告

七月十日(水)、バス二台で五十二名の参加で実施しました。気温の高い日が続き、落雷予報も発令されていたため、当初の予定を変更して、山梨方面へ向かうこととなりました。

初めの目的地、「里の駅」いちのみや」では、山梨県ならではのお土産があり、皆さん買い物を楽しんでいらっしゃいました。

その後、桔梗屋信玄餅工場テーマパークに向かい、工場見学や買い物を楽しみました。

工程の当日変更がありました。が、体調を崩される方もなく、実施できましたことお礼申し上げます。来年度も開催予定ですので、是非、参加いただければと思います。

今回の事業実施にあたり、協力いただいた、プラススポーツ指導員、看護師、手話通訳士の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。

(事務局)



横須賀市

視覚障害者協会の
活動内容について

横須賀市視覚障害者協会

会長 白石^{しらいし} 敏夫^{としお}

横須賀市視覚障害者協会は、昭和二十三年に産声を上げ、令和六年に七十六年目を迎えています。本協会は、年一回の総会と、毎月行っている定期理事会で運営しています。

会の活動は、夏の納涼祭と新年の新年会、年度末の福祉と文化の集いを中心に、二、三ヶ月を目標に、食事会や各種教養講座、社会見学などを実施し、その他にも、年間を通じてクラブ活動を実施しており、多くの会員が参加しています。

クラブの種類には、ST Tクラブ（サウンドテーブルテニス）・編み物クラブ・コーラスクラブ・社交ダンスクラブ・文芸クラブがあり、同好会として、カオケ同好会が活動しています。

会全体では、年に一回の障害福祉課との懇談会をはじめ、市内三カ所の警察署を訪問し、警察署との接触を図っています。

さらに、マンスリーの機関誌として、会報「光」を発行しており、会員への広報に努めています。

さんぽみち

相模原市

視覚障害者協会の活動

相模原市 芥川^{あいたがわ} 文男^{ふみお}

私が住んでいる相模原市南区は、小田急小田原線、JR相模線が通っていて、交通の便も良く、近くには相模川が流れ、とても環境が良いところです。

私は難病で視力を失い、気持ちが落ち込んでいる時、ガイドヘルパーさんの紹介で、相模原市視覚障害者協会（相視協）に入会しました。活動の中で一番驚いたのが、文化・スポーツサークルで、皆さんが元気に楽しそうに活動されているのに気持ち引かれて、ブラインドテニスに入れていただき、全盲の私がテニスなど出来るのか、とても心配でしたが、視覚の皆さんやボランティアの皆さんに助けて頂きました。障害がある人もない人も、共に支え合い、活動に参加する事により、社会参加や自立する道が開けるように感じ、サウンドテーブルテニスにも参加

し、神奈川県障害者スポーツ大会の陸上、フライングディスク、S T Tの各競技大会にも参加し、沢山のメダルも頂くことができました。全国障害者スポーツ大会にも、二〇一七年愛媛大会、二〇二三年には鹿児島大会の相模原市選手団として出場させて頂きました。全盲の私に大会に出る勇氣や楽しさを教えてくれた相視協のサークルの仲間達やお世話になった協会のお役に立てればと思います。現在、役員を務めさせて頂いています。

相視協の主な事業は、通常総会、福祉大会、社会見学、親睦会と白い杖の文化祭、女性部のホットサロンです。会員相互の親睦と交流を深めるバス旅行は、会員からも好評で毎年楽しみにしています。昨年は静岡、今年は群馬方面に行く予定です。白い杖の文化祭は、コーラス、大正琴、落語、カオケ等、日頃の練習の成果の発表会。家族や、ボランティアさんも観覧に來られ親睦を深めています。福祉大会は大会決議と採決。

市に要望する内容について、市内の視覚障害者が一堂に会し、日頃抱えている問題や、悩みについて意見交換を行い、より豊かな社会生活の実現を目指すと共に、会員相互の親睦と交流を深める事を目的としています。現在、相模原市

の委託を受けて、毎月第一火曜日と第三木曜日に「視覚障害者何でもサロン」を開催しています。会場は、相模原市立視覚障害者情報センター。内容としては、ピア相談や情報センターに設置されている日常生活用具給付、対象の情報機器操作説明等。また、当事者同士の情報交換の場として、集える談話室を設けています。困りごとへのアドバイスや、障害福祉機器に関する事、日常生活での工夫など、活発な情報交換が行われています。

会員増加対応では、何でもサロンに相談に來られた方の入会が多くなってきており、また、市内の各公共施設などに会員募集のポスターを掲示、リーフレットを置いたPRのおかげで会員は増加しています。

行政の状況としては、相模原市の障害者施策見直しと転換に大きな動きがあり、障害者に寄り添った対応をしていたためにも、意見交換会には積極的に参加しております。

これからも、県身連、相身連の事業に参加協力し、相視協の Motto「明るく元気に、楽しんで」会員同士の交流や、健常者との交流を大事にしながら、活動していこうと思います。

市町村のページ①

神奈川県身体障害者連合会 事業紹介 神奈川県障害者社会参加推進センター

藤沢ふれあいフェスタ

期日：令和6年12月7日(土)
場所：藤沢市役所 分庁舎(予定)

【内容】

各市町村で開催されているイベントに出展をさせていただき、障がいに対する理解を深めていただく活動を行っております。

第69回 神奈川県身体障害者福祉大会

期日：令和6年12月15日(日)
場所：海老名市文化会館大ホール

【内容】

障害福祉にかかわる課題を確認しながら、連携を深め、ともに生きる福祉社会の実現に向けて、大会宣言にかかげる行動を決意し、社会参加及び社会福祉の向上の促進活動を行っております。

第16回 神奈川県文化・芸術祭

期日：令和6年12月21日(土)
12月22日(日)
会場：小田原三の丸ホール

【内容】

ダンスなどのサークル的活動を行っている団体の発表や、写真・書道・手芸・工作・絵画などの展示を行っております。

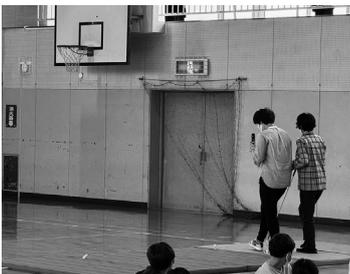
「障害者差別解消法」講演

期日：令和7年2月5日(水)
会場：二宮町生涯学習センターラディアン

【内容】

障害に対する理解・促進を目的として、講演会を行っております。
第一部は、障害者差別解消法について、第二部では、シンポジウムを行います。

(誘導體験の様子)



(手話体験の様子)

各障がいの特性のお話や体験談、コミュニケーション体験や誘導體験など、より多くの方に、障がいの事を知っていただきたいという思いから、当事者や支援者が障がいについて、お話をさせていただきます。

今年度も沢山の申し込みをいただいている人気のある講習会になっております。

理解促進部会
「障がいってなんだろう?」
講習会

七宝焼

厚木市身体障害者福祉協会
畑中靖敏

市町村のページ②

厚木市約二十二万三千人で、愛川町と清川村とは横の繋がりが深い。厚木市の大きな催しとしては、八月三日(土)〜四日(日)の「鮎まつり」があった。「花火大会」の指定席一万二千三百席が、即完売になり、二十三万人が夜空を仰ぎ、煌びやかな色彩の音で「ウオー」と声高らかに楽しんだ。四日(日)には、オーブニングパレードの後、子供たちには鮎の掴み取り、厚木市中央公園では、メイנסテージにて、ダンス、踊り、若者のボーカルショーで盛り上がり、賑わいを見せていた。

「身障かながわ」第一六八号が出る少し前、十月五日に第六三回厚木市障がい者体育大会が、荻野運動公園体育館で実施され、五百名を超える参加があり障がい者で「パン食い競争」をはじめ、数々のプログラムで楽しい一日だった。

木市制七十周年を迎える記念式典に、特別表彰者の表彰と、厚木市の映画撮影が始まる計画が内定している。又、身障協会も、同じく九月に七十周年を迎える。色々な企画を考察中である。

さて、「七宝焼」は、先輩方が始めた三十数年前から今日に至る。私が興味があり、指導を受けて四〜五年経った頃、次々と先輩が出来なくなり、私が焼釜と金要具を頂き、少しずつ引継ぎ、新加入者と共に、月二回金曜日に定めやってきました。毎回十名前後の入会者が参加して、現在は責任者として西本副会長を中心に頑張っている。「七宝焼」は、金属生地に釉薬を焼き付けた、美しい工芸品として、広く世界に知られ、一つひとつ丹念に釉薬を施し六百度の釜で焼き上げ、陶磁器漆器に見られない華麗さと手工芸の味とを生かしている。七宝の語源は仏典にある、金、銀、瑠璃、珊瑚、玻璃、砗磲、瑪瑙の七宝から来ており、それらの豪華さ、風格を表現するのが初期の目的と言われている。正倉院の御物に七宝が見られる。慶長年間に京都の金工匠が製法を習得したのが我が国の七宝の初めと言われ、明治期に七宝技術が発達し、現在では日本を代表する工芸品といわれるに至っている。

みんなの広場

肢体部会の現状

肢体部会長 小出庄作

長年、県身連で活動をしていいますが、近年、県内各市町村の障害者団体では、会員の高齢化、若い世代の入会者がほとんど無く、こうした現状は、障害者団体の共通の悩みとなっています。

今、特に心配事が、平成二十五年から、県身連を退会、解散、休会と九団体が活動を中止し、県身連から去ることになりました。九団体の皆さんの心情は、いつまでも一緒に県身連活動をやっていたらと思う人が多くいたと思います。中止に至った経緯は私達には、何も言えません。しかし、各協会の共通の悩みとして対応せざるを得ないでしょう。

肢体部会でも、一年間を通しての事業運営、活動が難しくなってきました。それは、高齢で歩行困難者が増加し、各協会の活動には参加しても、県身連肢体部会の活動には、その場所への交通問題等、難題があります。歩行訓練会では、当日、その会場までの交通手段等が確保出来ず参加者激減。肢体部野外活動も、出発地までの

交通手段や参加費の値上がり等で参加者が減っています。登山事業は、下肢障害、車椅子使用の人は、これからはリフトバスが必要になります。福祉大会は、以前は、大会会場に五百人から六百人の会員が詰めかけて、大会を盛り上げていましたが、近年では二百人前後の会員の参加です。

各支部の役員の方々も肢体部事業に「全員」の参加で苦労されていると聞きます。これも、時代の流れとして受け入れていかなければならないと、思いました。

これからの肢体部会を考えると、事業の受け入れやすい企画への変更を、役員の皆さんと検討して、会員の皆さんが参加しやすい事業計画案を考えていけたらと思う日々です。



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

県身連事業予定

<10月>

- 2日(水) 障害者社会参加推進協議会 (県社会福祉センター)
- 6日(日) 《聴覚部》デフ・ウェイ (鎌倉市)
- 16日(水) 《肢体部》研修会・部長会議 (伊豆潮風館) ~17日(木)
- 19日(土) 《聴覚部》高齢部社会見学 (横浜市内)
- 20日(日) 《視覚部》ピクニック
- 22日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉センター)
- 24日(木) 第23回全国障害者スポーツ大会 (佐賀県) ~29日(火) ※この期間、事務局は閉鎖となります。

<11月>

- 5日(火) 《肢体部》役員会
- 9日(土) 県初級パラスポーツ指導員養成研修 1日目
- 10日(日) 〃 2日目 (県立スポーツセンター)
- 《聴覚部》GO!デフ・ワールド (県聴覚障害者福祉センター)
- 11日(月) 《肢体部》野外活動 (埼玉県方面)
- 16日(土) 県初級パラスポーツ指導員養成研修 3日目
- 17日(日) 〃 4日目 (県立スポーツセンター)

<12月>

- 1日(日) 《肢体部》クリスマスの集い (海老名市総合福祉会館)
- 7日(土) 藤沢ふれあいフェスタ (藤沢市役所)
- 15日(日) 第69回神奈川県身体障害者福祉大会 (海老名市文化会館)
- 21日(土) 第16回文化・芸術祭 (小田原三ノ丸ホール) ~22日(日)

<令和7年1月>

- 5日(日) 《聴覚部》賀詞交換会 (県聴覚障害者福祉センター)
- 17日(金) 卓球競技会【精神】 (県立スポーツセンター)
- 19日(日) 卓球・STT競技会 (県立スポーツセンター)
- 21日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉センター)
- 未定 《肢体部》研修会



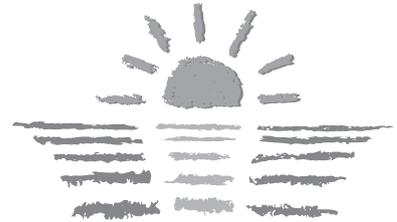
台風10号の影響について

台風10号の影響を受けた地域のみなさまには、お見舞い申し上げます。今一度、自らの命を守るために出来ることを、日頃から考えていきましょう。



写真募集

新年号(令和7年1月発行)に掲載する、日の出の写真の提供をお待ちしています。



皆様へのお知らせ

令和6年10月24日(木)から29日(火)まで、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」帯同にともない、この期間、事務局は閉鎖となります。

SAGA 2024 国ス ポ 全障ス ポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

編集室から

世界中のアスリートが繰り広げた第三十三回夏季オリンピック・パリ大会では、日本選手団のメダルラッシュ。知人から恋ちゃん(こひこ)が、相模原市からオリンピックに出場する事をお聞きし、応援していました。スケートボード女子ストリートで、大会最高得点で、堂々金メダル獲得の中学生十四歳、吉沢恋選手(よしかわこひこ)が夢と希望を与えてくれた、その姿に胸がいっぱいになりました。

柔道の橋本壮市選手(はしもとさういち)も銅メダル、高市未来選手(たかいちみく)との混合団体で銀メダルも獲得しています。地元から9名参加し、沢山の勇氣と感動をもらい五輪ロスになってしまいました。

全国的に猛暑日が続く中、相次ぐ地震や台風にも注意が必要です。大切な命です。自分の身は自分で守りましょう。

編集委員

吉原 君子 (相模原市)

